

平成 29 年度 第 4 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 29 年 7 月 5 日 (水) 13 : 30 ~ 16 : 30

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 学内 : 藤野、中山、原田、興梠、佐伯、阿南、長野、廣、上野 (晋)、樫本
学外 : 櫻井、安元、田中
欠席者 学内 : 井上、庄司

4 報告事項等

(1) 平成 29 年度第 3 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 29 年度第 3 回専門委員会 (6 月 16 日開催) について

上野 (晋) 委員長から、審査結果等について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成 29 年度第 2 回産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録 (案) が、原案どおり承認された。

2) 第 2 外科学から提出された変更申請 (セ H26-05) については、緊急審査の必要があったため、倫理委員会委員長及び副委員長 (専門委員会委員長) による審査を行い、承認した旨の報告を行った。これに関連して、申請者から緊急審査依頼の理由、その後の経過等について説明があり、専門委員会においても変更申請を承認した。

3) 第 3 回倫理委員会 (6 月 7 日開催) に関連して審議結果等の報告を行った。

4) 新規申請 2 件について、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とすることとした。

5) 変更申請 5 件のうち、4 件は「承認」とすることとし、1 件については、指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とすることとした。

6) 研究終了報告 1 件が承認された。

7) 委員から天皇の退位等に関する皇室典範特例法の成立、公布に伴い、倫理審査研究計画書等の元号表記について検討する必要があるとの発言があり、委員長から倫理委員会委員長に伝達することとなった。

藤野委員長から、元号表記については西暦と併記することとしてはどうかとの発言があった。

(3) 平成 28 年度第 3 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長から、10 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する申請者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした。その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(4) 第 55 回医学系大学倫理委員会連絡会議について

上野 (晋) 委員長から、6 月 30 日及び 7 月 1 日に浜松医科大学を当番校として開催され、当委員会委員及び担当事務職員が出席したことの報告があるとともに、最近の本会議のテーマとして、臨床研究に関するものを取り上げることが増えていることから、次回から病院の臨床研究推進センターからも参加者を出す必要があるではないかとの発言があった。

(5) 人を対象とする医学系研究倫理に関する講習会（DVD）の開催について

藤野委員長から、6月21日、23日、26日に開催されたこと及び修了者数（若松病院勤務者を含め合計325名）の報告があった。また、受講レポートの席上回覧を行った。

5 審議事項等

(1) 倫理審査申請関係様式及び記載例の変更について

藤野委員長から、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成29年2月28日一部改正）を踏まえた倫理審査申請関係様式及び記載例の変更について、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- ・倫理審査研究計画書 概要チェックリスト Ver. 3.0
- ・倫理審査研究計画書 Ver. 3.0
- ・ 同 記載例
- ・参加者の方（患者さん）への説明文書 記載例 Ver. 3.0
- ・他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書 Ver. 1.0
- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録 Ver. 1.0

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 申請者： 産業保健学部 成人・老年看護学 教授 佐藤 実
課題名： 皮膚筋炎/多発性筋炎における筋炎特異抗体と予後との関連
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

本学は、台湾の大学が採取した血清を研究対象者が特定できない状態で取得するので、そのように修正する。

- ② 申請者： 医学部 第2外科学 助教 竹中 賢
課題名： 「エルロチニブ導入療法の治療効果や予後予測のためのバイオマーカーの検索および耐性化機序の解明」
縦隔リンパ節転移を有するⅢA期EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するエルロチニブによる術前導入療法後の外科的切除の第Ⅱ相試験（PIT-3）における付随バイオマーカー研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

誤植がある。12行目 許可されたもだけに→許可されたものだけに

参加者の方（患者さん）への説明文書

行間を統一する。

4. 研究の背景・目的・意義

8行目 『研究に協力』は、『研究に参加』に改める。

5. 研究の方法

血液の採取量を記述する。

19. 研究の実施に伴い、研究対象者の健康、子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる場合には、研究対象者に係る研究結果（偶発的所見を含む。）の取り扱い

文中の『ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に基づいて』という記述は、患者にはわからないので、具体的な記述に変更が必要である。

21. 研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨と同意を受ける時点において想定される内容

後段の3行『同意書に署名されますと、この臨床試験の期間中にカルテなどの閲覧、当院以外への医療機関への情報提供および結果の公表について承諾いただいたこととなりますので、ご了承ください。』は、患者の不安を煽るので、削除する。

③ 申請者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明

課題名： 末梢神経障害の診断における MR Neurography の有用性に関する検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について

2行目『平成26年12月22日』は『平成29年2月28日一部改正』に改める。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 4) 代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の選定方針と手続方法

研究対象者が16歳以上であることから、代諾者からインフォームド・コンセントを受ける必要があるため、修正が必要である。

同意書

誤植がある。『代筆者』→『代諾者』

④ 申請者： 医学部 眼科学 助教 落合 信寿

課題名： 視覚障害者の就労実態を反映した医療・産業・福祉連携による支援マニュアルの開発

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

文中に記述されている研究協力者は、「3. 実施分担者」の欄にも記述する。

5. 実施計画 5) 方法 研究2：インターネットを介した全国実態調査

4行目の『コメディカル』は『メディカルスタッフ』に改める。

13. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法

調査に係る業務内容の一部を委託する会社の具体的な名称を記述する。決定していないのであれば、候補として記述し、決定後に変更申請を申請を行う。

15. 対象者への経済的負担又は謝礼の有無とその内容
謝礼の金額が決まっているのならば、具体的に記述する。

視覚障害者就労支援に関するインタビュー調査 ご協力のお願
同意書に年齢の記載は不要であるので、『年齢 才』を削除する。

- ⑤ 申請者： 産業医科大学病院 消化管内科、肝胆膵内科 助教 南 創太
課題名： 慢性肝疾患における、微量元素と肝障害パラメーターとの相関及び、亜鉛投与によるその臨床的意義についての検討
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法
1 行目『前向き介入研究』を『前向き観察研究』に改める。
3 行目『線維化マーカー』の前に『肝の』を追加する。
採血量について、研究のために 5ml を追加することがわかるように修正する。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障
『撤回することも自由に可能である』は意味不明であり整理する。
14. 研究費の資金源と利益相反について
『保険外検査を行う場合』という記述がある。保険外検査を行うのであれば「5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法」にもそのことについて記述が必要である。
17. モニタリング及び監査方法（侵襲を伴う介入研究の場合）
本研究は、観察研究のため、修正が必要である。
19. 緊急時の連絡先
研究実施分担者に南 創太助教の氏名を併記する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

全体的に文字が小さいので、大きくする。

- ⑥ 申請者： 医学部 第3内科学 講師 柴田 道彦
課題名： 肝細胞癌の再発に関する検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者： 医学部 第3内科学 助教 渡邊 龍之
課題名： 食道胃静脈瘤に対する内視鏡的治療後の肝機能変化
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 永元 啓介
課題名： 耳小骨 CT 検査における撮影法や画像再構成法の違いが画質及び放射線被ばく線量に与える影響に関する後ろ向き研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施分担者

大学院生の身分についての記載は不要である。

オプトアウトのための情報公開文書

5. 研究の目的 及び 6. 研究の方法

『モーションアーチファクト』、『ストリークアーチファクト』、『Filter Back Projection』など、研究対象者にわかりにくい言葉がある。研究対象者にわかりやすい文章に改める。

7. 個人情報の取り扱い

作成した被験者番号との対応表の保管と廃棄について記述する。

- ⑨ 申請者： 産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 荒牧 聡
課題名： 胎盤血流動態が胎盤形成と栄養素輸送機能に与える影響の研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）研究の学術的背景・目的

読みにくいので、改行する、段落を設ける等工夫をする。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報（結果を含む）の対象者への開示及び公表の方法

対象者にとって子宮内環境の診断は関心があると思われる。結果を開示するかどうか記述する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 8) 遺伝的特徴に関する重要な知見が得られる可能性がある場合、対象者に係る研究結果（偶発的所見を含む）の取扱い

遺伝的特徴に関する重要な知見が得られないのであれば、修正が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

生体試料の保管と廃棄についての記述を追加する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

4が重複しているので、項目番号を整理する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

直接的な利益はないとしても、研究対象者の心情に配慮し、将来的に同じ疾患に苦しむ患者さんの利益につながることを記述する。

10. 研究に関する情報公開の方法

研究対象者が閲覧を希望する場合の対応についての記述を追加する。

- ⑩ 申請者： 産業医科大学病院 総合周産期母子医療センター 助教 荒牧 聡
課題名： 妊娠期における葉酸摂取の必要性についての情報リテラシーに関する研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 実施分担者

他大学大学院生を実施分担者にはできない。「研究協力者」とする。

5. 実施計画 4) 場所

調査：産業医科大学病院産婦人科外来の次の『講師 柴田英治』は削除する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法 <具体的方法>

9行目 調査票の回答記入に要する時間（およそ10分）は、見直しが必要である。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を踏まえ、同意を得たことを記録に残すことを記述する。

参加者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

冒頭に多施設共同研究であること、研究代表者、事務局について記述する。

5. 研究の方法

質問紙への回答に要する時間を記述する。

⑪ 申請者： 医学部 第2外科学 学内講師 米田 和恵

課題名： 第3世代EGFRチロシンキナーゼ阻害剤効果予測における血漿遊離DNAの有用性
についての研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

5行目 『オシメルチニブ』について、患者にわかりやすい説明を追加する。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

『検体を使い切るまで（略）保管』は誤解を招くので、『この場合も、項目12.で説明した方法により、（略）、検体を使い切るまで佐賀大学メディカルバイオバンクセンターにて保管します。』を削除する。

⑫ 申請者： 医学部 泌尿器科学 准教授 瀧砂 良一

課題名： 難治性尿道炎・子宮頸管炎から原因微生物の分離、培養および薬剤感受性とその薬剤耐性遺伝子の検出

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

誤植がある。 1～2行目 子宮頸管炎の増加している→子宮頸管炎が増加している

2行目、7行目 保健適用→保険適用

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

本学を受診した患者の個人情報等の取り扱いについての記述を追加する。

患者さんへの説明文書<ホームページ用>

14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

冒頭の5行は、不要であり、削除する。

21. 研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨と同意を受ける時点において想定される内容

誤植がある。 2行目 登城→譲渡

研究のお知らせ<ホームページ用>

2. 研究期間

『平成33年6月』は、『平成32年3月』に改める。

6. 研究の方法

誤植がある。 10行目 微生物に検出→微生物の検出

⑬ 申請者： 医学部 泌尿器科学 准教授 濱砂 良一

課題名： 臨床検体から分離された *M. genitalium* の薬剤感受性と、マクロライド、キノロンに対する遺伝子変異の検討

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

ただし、以下のことから、倫理審査申請の必要はないという発言があった。

[指摘事項]

オプトアウトのための情報公開文書

研究対象がこれまで泌尿器科学講座が行ってきた臨床研究により得られた、患者の生体試料から分離された遺伝子及び分離、培養に成功した株が対象で、匿名化後のデータとして保存されているのが、年齢、性別、治療歴である。

このことから、利用の拒否を申し出られても、個人が特定できないので対応ができないので、オプトアウトのための情報公開を行うことに意味がない。

⑭ 申請者： 情報管理センター 准教授 浅川 剛

課題名： 健診データによる健康状態遷移予測モデルの開発

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

『匿名加工したデータ』、『匿名加工情報』、『匿名加工化された既存データ』という表現があるが、提供者である企業外健診機関は、将来のビジネス化を計画しているのか、改正個人情報保護法を踏まえ、確認する必要がある。

承諾書

本学の申請様式「同意書」を踏まえて大幅な修正が必要である。

覚書

乙は、産業医科大学情報管理センターから産業医科大学に変更する。

第4条の『社外持出』は、修正が必要である。

第6条の有効期間は具体的な研究期間を記述する。

第16条の次の文章に誤植がある。甲乙各1通 → 甲乙各1部

- ⑮ 申請者： 進路指導副部長 准教授 一瀬 豊日
 課題名： 産業医の事業所に対する助言、指導、勧告に関する実態調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑯ 申請者： 医学部 リハビリテーション医学 助教 蜂須賀 明子
 課題名： 脳卒中下肢痙縮の形態的および電気生理学的評価の検討
 -拘縮を考慮した新しい痙縮評価に向けて-
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法

対象者の脳卒中片麻痺患者を亜急性期と慢性期に分けていることを踏まえた記述に変更する。

- ⑰ 申請者： 進路指導副部長 准教授 一瀬 豊日
 課題名： 産業医需要供給実態調査 -事業所および産業医を対象とした調査-
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 申請者： 産業医科大学病院 形成外科 准教授 安田 浩
 課題名： 形成外科初診患者に対する形成外科認知度調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 産業保健データサイエンスセンター センター長 松田 晋哉
 課題名： 産業保健情報のデータベース開発に関する研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
 課題名： レセプト等の大規模電子診療情報を活用した薬剤疫学研究を含む医療パフォーマンス評価に関する研究
 分担課題名： NDB を用いた薬剤副作用スクリーニングシステムの開発
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
 課題名： 地域包括ケア体制実現のための医療・介護レセプトを連結した情報基盤の作成とその活用に関する研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
 課題名： 診断群分類を用いた病院機能評価手法とデータベース利活用手法の開発に関する研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ⑥ 申請者： 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
 課題名： かかりつけ医の普及に向けた患者の医療機関選択や受療状況把握に関する研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者： 産業医科大学病院 看護部 看護師長 岩田 恵子
 課題名： 産業医科大学病院及び産業医科大学若松病院における看護師の感情労働の実態調査 -感情労働に影響を及ぼす要因を探る-
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 産業保健学部 人間情報科学 講師 黒坂 知絵
 課題名： 効果的な情報教育法のための大学生における情報危機管理意識調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者： 医学部 泌尿器科学 助教 永田 祐二郎
 課題名： 進行性腎細胞癌に対する分子標的治療薬の有効性および安全性に関する臨床的検討
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑩ 申請者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 講師 池上 和範
 課題名： 産業医需要供給実態調査
 -新規産業医資格取得者を対象とした調査-
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

- ① 申請者： 医学部 神経内科学 教授 足立 弘明
 課題名： パーキンソン病の食品介入試験
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 整形外科学 助教 山中 芳亮
 課題名： 手根管症候群発症機序の分子細胞学的解析
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 産業医科大学病院 内視鏡部 部長 芳川 一郎
 課題名： 中等症又は重症の潰瘍性大腸炎患者に対するアダリムマブの短期・長期治療成績の検討
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 神経内科学 准教授 岡田 和将
 課題名： 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性検証試験の継続投与試験 (RIN-2)
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

患者さんへの説明文書

別紙1のリツキシマブ投与スケジュールは、倫理審査変更申請書 5. 実施計画のスケジュールを同じ内容なのか確認する。

- ⑤ 申請者： 医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右
課題名： 2型糖尿病患者の生体リズムを調整するホルモンが糖・骨・血管・脂肪に及ぼす影響についての検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者： 医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右
課題名： ハイリスク糖尿病患者におけるエンパグリフロジンの血管内皮機能に対する効果—多施設プラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験— (EMBLEM trial)
Effect of Empagliflozin on Endothelial Function in Cardiovascular High Risk Diabetes Mellitus: Multi-Center Placebo-Controlled Double-Blind Randomized Trial
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者： 医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右
課題名： SGLT2 阻害薬による動脈硬化予防の多施設共同ランダム化比較試験 (PROTECT) (Prevention of atherosclerosis by SGLT2 inhibitor; multicenter, randomized controlled study)
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 医学部 第2外科学 講師 市来 嘉伸
課題名： 全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者： 産業生態科学研究所 人間工学 准教授 泉 博之
課題名： 介護施設における介護作業員の作業負荷・作業負担調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方への説明文書

2. 実施責任者

産業理学療法研究会には、変更申請の理由となっている『一般社団法人』の名称をつける。「12. 個人情報の取り扱い」においても同様である。

上記ことは、施設利用者の方への説明文書においても同様である。

7 その他

(1) 研究終了報告 6 件及び進捗状況報告 3 件が承認された。

<終了報告> 6 件

- H25-055 申請者：医学部 眼科学 教授 近藤 寛之
 課題名：難治性網膜剥離の手術治療における高比重シリコンオイル（Oxane HD®）の有用性の検討
- H25-167 申請者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右
 課題名：ステロイド性骨粗鬆症に対するテリパラチド週1回製剤の有用性の検討（TOWER-GO）
- H27-184 申請者：医学部 産科婦人科学 教授 蜂須賀 徹
 課題名：卵巣子宮内膜症性嚢胞におけるホルモン作用機序の免疫組織学的解析
- H27-185 申請者：医学部 産科婦人科学 教授 蜂須賀 徹
 課題名：卵管における p53 signature の免疫組織学的検討
- H27-230 申請者：産業保健学部 広域・発達看護学 教授 正野 逸子
 課題名：在宅看護論における地域包括ケアシステムの教育内容の実態と課題
- H28-042 申請者：産業医科大学病院 医療情報部 部長 林田 賢史
 課題名：経験年数1～3年における看護師の臨床実践能力の実態と、その習得過程に関わる要因の検討

<進捗状況報告> 3件

- H26-239 申請者：産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 教授 河井 一明
 課題名：酸化ストレスマーカー 唾液中 8-OHGua に及ぼす生活習慣、労働条件の影響
- H28-011 申請者：医学部 第2内科学 准教授 園田 信成
 課題名：経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象とした抗血小板療法による血栓性イベント、出血性イベント、血小板凝集抑制作用の実態調査
- H28-123 申請者：産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 芝 栄志
 課題名：強度変調放射線治療の線量不確定性を定量的に取り入れた線量分布の評価法を確立するための後ろ向き研究